

No.2369 修験業山

2013年6月16日(日)

参加者：片山琴美、岡本、岡崎（L、記） 計3名

学研奈良登美ヶ丘駅にて琴美さんと合流し、岡崎車で登山口の川上山若宮八幡宮に向かう。岡本さんはマイカーにて直接八幡宮で合流する予定。岡崎車は約2時間のドライブで八幡宮に到着。岡本さんは少し早めに到着していたとのことで、既に駐車場で待機中であった。車は計3台しか駐車しておらず、静かな山行が予想される。梅雨時期にもかかわらず、カラ梅雨の影響で、本日は真夏を感じさせる快晴です。準備を整え、9:30 駐車場出発。灯籠の参道を歩き、程なく社務所横の登山口から本格スタート。スタート地点の標高が380m、山頂が1093mで標高差713mを約2時間で上がる予定。結構な急斜面を覚悟する山行です。初めは修験業谷沿いの登りです。沢登りにいいかと思える水量と規模があります。水も綺麗で水温も低い。登りの時間帯はまだ気温が低く、風が涼しく感じる。

沢を外れ、急な山腹を登り始めてからがきつかった。所々にロープが張られるほどのきつきです。足元も滑りやすく、慎重に山頂を目指す。11:30 奥宮の高宮に到着。立派な石の鳥居がある奥宮であった。シャクナゲの開花は完全に過ぎたようで、一輪の痕跡もありませんでした。この辺りから、ハエに悩まされる。襲ってはきませんが、これほど周りに飛んでいると耳障りではない。11:50に修験業山(1093m)に到着。見晴らしもなく、それほど特長もない山頂でした。到着に少し時間がかかったこともあり、予定の栗ノ木岳はキャンセルし、ここで来た道を折り返すことにした。ここもハエが多いことから、昼食はハエが少ないポイントまで戻ってとることにした。ところがそのポイントでも結局ハエにたかられ、山頂付近の居心地は微妙なところでした。その後は来た道をひたすら下山です。来た道が急斜面のため、帰る道も急斜面。より慎重に3人下り続け、13:58 八幡宮に到着。日差しがきつい時間帯のため、汗をいっぱい掻く。ついに夏山時期の突入と感じました。

川上山若宮八幡宮 9:30—高宮 11:30—修験業山 11:50—八幡宮 13:58 行動時間 4時間 28分